

(国 語) 科における令和3年度授業改善推進プランの検証

取り組みにおける成果と課題 ・ 2、3年生ともに、読む能力の向上が見られた。細かい表現にも気を配り、情景描写を読み込んでいく指導の成果だと思われる。また、作文についても指定された文字数で課題に沿って作文を書く取り組みが成果に結びついた。 ・ 3年生においては全体的に能力の向上がみられた。漢字小テストや語彙を増やす取り組みを行ってきたことの成果が出ている。また文法問題の正答率も上がっている。2年生は漢字を読むについては全国平均正答率を上回っているが、漢字を書くについて、目標値に達することができなかつた。文法・語句に関する知識に関する能力の向上にまで至っていないが、地道な取り組みを続ける必要がある。

(国 語) 科における調査結果の分析

領域別結果の分析	○1年生は目標正答率、全国平均正答率ともに高得点をとることができた。 ○2学年は伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については目標値を達成することができなかつたが、他はどの領域についても目的値を上回ることができた。 ○3年生は話すこと・聞くことについて全国平均正答率をわずかに下回ったが、目標正答率、全国平均正答率ともに上回る得点をとることができた。 ○2、3年生は特に読むことについては特に大きく目標値を上回っている。
観点別結果の分析	○1学年はどの観点についても、目標値を上回った。全国の正答率も超えている。 ○2学年はどの観点についても、目標値は上回った。言語についての知識・理解については全国の正答率も超えている。 ○3学年はどの観点においても、目標値を上回った。話す・聞く能力についてはわずかに全国正答率に達しなかつたが、それ以外は全国正答率も超えている。

調査結果に基づいた授業改善のポイント

1 基礎的な読解のスキルを向上させる。 →文学作品を読む際に押さえる、場面展開や登場人物の心情をとらえる力をつかむために文中の行動描写や情景描写など細かい表現にも注意を払わせる。説明的文章を読む際に把握する中心文の理解を、新聞やワークシートなどを活用して普段から練習させる。また、教科書の教材に関連した別の文章にも触れる機会を増やして、学習した内容の定着を図る。
2 漢字の読み、語彙力を充実させる。 →日常的に漢字の学習を取り入れ、プリントを使って家庭や学校で繰り返し練習させたり、授業で小テストを行ったりして、漢字を書く力をつけさせる。また、さまざまな学習活動の中で表記について適宜指導する。
3 話すこと聞くことを意識させる。 →日頃から全体と部分に注意し、集中して話を聞く態度を養う。

(国 語) 科の授業改善策

- 授業での教師の発言やお互いの生徒同士の発言を大切にする。聞く習慣を養う。
- 説明的文章を読む力をつけるために、新聞や教科書の教材に関連した別の文章を読むなどいろいろな文章に触れる機会を作り、ワークシートなどを活用して情報を取捨選択する力を身につけさせる。
- 書く力をつけるために、作文のガイドラインや構想を練る練習をさせるとともに、相手や目的、意図に応じた短作文を論理的に構成させる。また、定期的に作文を書くことで苦手意識を払拭させる。
- 漢字の読み書きや語彙力をつけるために国語辞典、漢和辞典の積極的な活用、定期的な小テストの実施を心がける。